



人権だよりのカラー版は いかがですか

今年の3月発行分からカラーで人権だよりの作成をしています。

「目につきやすく、読みやすく」と検討した結果、いろいろと検討した結果、ネット印刷を利用したらカラー印刷してもこれまでの経費と同等以下で作成することがわかりましたので、思い切ってカラー化した次第です。

結果、読みやすい人権だよりにできたと思っておりますが、皆さんいかがでしょうか？



怡土支部 フィールドワーク

視察先：大牟田市石炭産業革命遺産
万田坑跡
旧三池集治監外壁など

開催日：11月25日（木）
8時15分出発

目的：日本の近代化を支えた石炭産業の歴史。大牟田の炭鉱の歩みと人々の関わりを人権の視点より巡ります。



人権講演会開催のお知らせ

例年、7月の「同和問題啓発強調月間」に取り組んでいます人権講演会はコロナウイルス感染拡大に伴い延期いたしました。事前予約制にて下記のとおり開催する予定ですのでお知らせいたします。

開催予定：令和4年1月22日（土）
10時～2時間程度

場所：怡土コミュニティセンター
2階大研修室

演題：「よき日のために」
～あらゆる差別が解消される世の中の実現を願って～

講師：西原茂徳さん
員：50名（事前予約が必要です。）

※感染状況により、中止する場合がございます。

この仕組みを使うことで、以前から望んでいた紙面のカラー化をはかることができませんでした。

しかしながら、今度は昨年からのコロナウイルス感染拡大に伴い市同協の活動がほとんど実施できない状況になってしまいました。

そこで、啓発活動を維持するために、今回からA3版二つ折りに拡大して小中学校とも連携して紙面を充実することにしました。

これからも読みやすさと内容の充実をめざして「人権だより」づくりを努めてまいります。



あいさつ運動が再開されました

コロナ感染予防の為に中止していた朝の「あいさつ運動」が、10月より前原東中学校正門と怡土小学校周辺で再開されました。

区長会・民生児童委員・人権擁護委員・人権推進委員など地域をあげて、あいさつ運動を通した子ども達の見守り運動を行っており、コロナ感染対策を取りながら、子ども達と元気なあいさつで交流しています。



支部長 伊東山秀水

怡土人権だより

発行：糸島市人権・同和教育推進協議会 怡土支部
略称：市同協怡土支部

令和3年度
第2号
11月15日発行



今年の人権映画祭は「心の傷を癒すといふこと」を上映します。

「一あらすじ」

在日韓国人として大阪に生まれ育ち、自分が何者なのか悩んでいた青春期に精神科医の永野良夫（近藤正臣）の著書に感銘を受けた

1995年1月、大地震が起こり、和隆が勤める神戸の大病院は患者で溢れ返る。

精神科医としてできることを探し、避難所で被災者の声を聞こうとするも、なかなか受け入れてもらえない。暴言や泣き声が絶えない避難所、地震ごっこで遊ぶ子供たち……

和隆と離れて暮らしていた終子もまた、他人の心ない言葉にストレスを抱えていた。

人は傷つきやすい。被災

【キャスト】
柄本 佑
尾野真千子
濱田 岳
森山直太郎
浅香 航大
清水 くるみ 他

者たちと向き合い、精神科医の大切さを改めて実感した和隆は、新聞記者の谷村英人（趙珉和）からの依頼のもと、精神科医としてのエッセイを連載して1冊の本にまとめた。

そんな中、和隆にがんが見つかる。

がん治療を受けながらも、医師として診療を続けるようにする。

和隆がたどり着いた本当の「心のケア」とは……

自ら被災しながらも被災者の心のケアに努めた精神

開催日：12月5日
時間：13時開場
(13時30分上映開始)
場所：怡土コミュニティセンター
2F 大研修室

※事前予約が必要です。

怡土小学校との交流会

例年、12月の第1週に人権学習の公開授業に合わせて、「学社連携」の取り組みとして支部と小学校との交流会を開催して来ていますが、コロナウイルス感染拡大に伴い昨年度は中止せざるをえませんでした。

今年度は感染減少に伴い下記のとおり開催する予定となりました。

学校教育と社会教育と連携した人権活動の強化につなげてまいります。

開催予定：令和3年12月4日（土）
8時40分～12時
場所：怡土小学校

※感染状況により、中止となる場合があります。

「あとがき」

今回から、小中学校の協力を得て、児童生徒さんの「人権標語」と「人権作文」を紹介していくことになりました。

来年度の1号まで3回の紙面で、掲載可能な全作品を紹介してまいります。

私たちの地域の子どもたちが日ごろから学んでいる「人権」について、作品を通して大人が学ぶことも多くあるのではないかと感じております。

そのことから、この取り組みを通じて子どもと大人がともに成長していける取り組みになることにつながります。

なお、本取り組みは、今後継続してまいりますので、ご期待ください。

冒頭、「掲載可能な作品」と記しましたが、人権だよりが市のホームページを通じてインターネットで検索される環境のため、インシヤル表記で掲載することを保護者の方に了承いただいた作品に限り掲載させていただきますので、皆様にはご理解いただきますようお願いいたします。

やさしさは
あいてをきにし いうことは
K・U

未来向け
差別をなくし いい世界
S・Y

おれはなる
みんなを守る 絶対に!!
S・K

マスクしよ!
あんぜんのため みんなのため
K・K

ありがとう
言葉ひとつで いい気持ち
U・O

いのちはね あなたも
わたしも ひとつだけ
K・F

あったかいことばは
みんなをつなぐ 宝物
T・N

だめみんな
いじめたらだめ きずのこる
M・M

マスクしない
その行動が 命のきけん
A・S

ボランティア
地域を守る ヒーローだ
E・M

さべつなく
あったか言葉 ひろめよう
H・O

なくそうよ
人の悪口 絶対に!!
E・T

やさしさで ひとがよつてきて
ともになる
S・H

あいさつで
みんなつながり 輪ができる
M・Y

ぼくたちは
みんなちがつて みんないい
S・M

ありがとう
あったかことば たいせつだ
M・N

障がいから個性に

前原東中学校
N・U

私のお父さんは、韓国人です。
お母さんは日本人で私はハーフです。
人権問題では、外国人差別や障がい理由とする差別などが多いと思います。
私の父は、韓国人であると同時に、障がいを持ってます。



なので私は普通の人より身近なこととして捉えています。かと思ひ、この二つのことについて書くこうと思ひました。
まず国籍については、ハーフですが、差別をされたり嫌がらせをされたりはしませんでした。
お父さんも「国籍が韓国」というだけで、生まれも育ちも日本です。



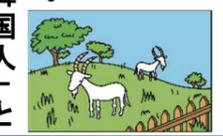
なので私にとっては身近であり、深刻な問題ではな

いのですが、社会の中では深刻なこととして扱われています。
そのように捉えている人も多いのではないしょうか。

でも、そこまで違うもの、特別なこととして捉えず同じように接し、国籍という肩書だけで判断しないようにするのが一番だと思います。

私は国籍差別をされたことが無いと自覚してました。自分がハーフなのが嫌だ、とも全く思っていないのですが、小学校の頃に「韓国のハーフなら韓国語喋って」と全く話したことがない人からいきなりいわれたことがあります。

韓国語はほぼ話せません。
友達が興味を持って聞いてくれるのはいいのですが、面白そうだからといって今まで関わってない人に対してそのようなことを言われるのは嫌な思いをします。



だから、やはり「韓国人」という国籍だけで、肩書だけで判断せずに、あくまでも

怡土小学校人権標語 (5年生・6年生)

ともだちは
しんじてくれる すてきな人
K・Y

きずつける
言葉の命 大切に
H・H

ともだちは
あなたの味方 うらぎらない
M・M

あいさつは
友だちになる 合言葉
Y・S

うれしい「ありがとう」だい
じょうぶ「たくさんいおう」
あったかことば
K・U

いじめだめ
言い返さずに「ごそうだん」
S・Y

そのひとこと
だれか一人でも よろこんだ?
K・K

つらい時でもまず笑おう
楽しい未来はじぶんしたい
N・K

あいさつは
みんなをつなぐ あいことば
K・N

いやがらせ
それも命を 絶やす元
T・O

思いやり
みんなのことを 考えよう
K・M

コロナでも
思いは届く どこまでも
K・K



なくそうよ
悪口かけ口 しらんぷり
S・H

命はね
人のいちばん 大事なもの
K・T

ぼくはする
マスク手洗い 対策だ
Y・M

マスク付け
付けない人は きけんだよ
Y・Y



ぼくたちは
ずっと友達 なかよしだ
T・Y

癒えやしない
心のきずは 笑っていても
K・M

わらってる まわりで見てるも
いじめだよ
S・K

たすけよう
こまってる人 見捨てずに
M・K

いじめはね やめたらみんなが
いいきもち
R・Y

命はひとつしかない 命があれば
なんだってできる だから、
みんなの命を大切に
R・W

気づかない?
相手の心 見てごらん
U・O

その言葉
あいてのきもち 考えた
Y・O



障がい者だから
障がいを一人ひとりの違い、個性として楽しみ認め合えるような社会にできるような社会にしたいです。



障がい者だから、周りの環境にあると思いません。
障がいを持っているか、持っていないかではなく、周りの環境にあると思いません。



生まれつきの障がいでも、事故などから負った怪我などでも、そうなる可能性は誰にでもあります。
それでも頑張ろうとしている人達はたくさんいます。
障がいを抱えている人でも楽しんで暮らしている人もいます。
もうと思ってしまう気持ちを受け入れていく事が大切だと思います。
私は、「障がい」という言葉が無くならないかと思っています。
なぜ人との違いを障がいという言葉で表すのでしょうか。
個性として認め、楽しむためには「障がい」という言葉から無くしていかないといいけないと思います。
差別とは頑張ろうとする気持ちと、踏みに行かないという事を差別をしている人に伝えたいです。
障がいや差別を無くし、障がいを一人ひとりの違い、個性として楽しみ認め合えるような社会にできるような社会にしたいです。